

■ 不定代名詞

不定代名詞とは特定のものではなく、漠然とした不特定の人、物、数量を表す代名詞です。
代表的な不定代名詞の意味や使い方を解説しますので、頑張って覚えてくださいね！

◆ one

たとえば、「面白い本ならたくさん持ってるよ。」「へえ～、一冊貸してよ。」
のような会話で、「一冊」は「本」を指していますね。いわば代名詞です。
でも、**it**のように、「**それ**」と特定していませんので、**不定代名詞**です。

one は数えられる名詞を指す時しか使えません。

複数の人や物を指す時は ones になります。ここが数字の1 (one)との違いです。

one(s) は、一度使った名詞の代わりに使います。

it とのもう一つの違いは、one(s)の前には**形容詞などの修飾語**を使えることです。

My bike is old. I want a new **one**.

(私の自転車は古い。新しいの(自転車)がほしい。)

★**one** は一度使った名詞 **bike** の代わりに使われています。

"Do you like these shoes?" "No. I like those **ones**."

「この靴どう?(好きですか。)」 「ううん。あっちの方がいいわ(好きです)。」

◆ 「one」と「it」の区別

This watch is mine. That new **one** is hers.

(この腕時計は私のものです。あの新しい腕時計は彼女のものです。) ※**one = watch**

This is my watch. I bought **it** last year.

(これは私の腕時計です。私は去年それを買いました。) ※**it = my watch**

◆ some

some は基本的に“肯定文”で用いられ、「いくらか」「何人か」という意味になります。

I have **some** money today. (私は今日**いくらか**お金を持っている)

There are **some** people in the park. (その公園には**何人か**の人がいる)

※数えられる名詞、数えられない名詞のどちらにも使えます。

★また some が疑問文で用いられる場合もあります。しかしその時は**人に何かを勧めるようなニュアンス**があります。

Would you like **some** coffee? (コーヒーは**いかがですか?**)

つまり**疑問文**で **some** が出てきたら「**～はいかがですか?**」という意味になるということです。

◆any

some に対して any は基本的に“**否定文・疑問文**”で用いられます。疑問文は some のような勧誘以外の時は any を用います。**否定文だと強い否定になり「1 つも（全く）～ない」となります。**

例

- ・ Do you have **any** cats? (何匹かネコを飼っていますか?)
- ・ No. I **don't** have **any** pets. (いいえ、私は **1 匹も**ネコを飼っていません)

「not~any…」 = 「no…」 となります。※書き換えでよく出る！

I **don't** have **any** money.

= I have **no** money.

(私はお金を全く持っていません。)

◆all と every

まず「**all**」と「**every**」は「**すべての～**」という同じ意味を持つ不定代名詞です。そこで何が違うのかというと「**all** は**複数形**」「**every** は**単数形**」なのです！違いはこれだけなので、意味はわかりませんが動詞が変わってくるのです。

例

① **All** students study English. (全体を意識)

② **Every** student **studies** English. (個々を意識)

上の2つの例文とも「**すべての生徒は英語を勉強する。**」となりますが、

①は**すべての生徒**を一括りとして考えているのに対し、

②は**一人一人**を意識しながら全体について述べているニュアンスです。

個々を意識しているために単数形になると考えよう！

※「**all of 複数を表す名詞**」で「**～のすべて**」という意味になります。

All of the boys were on the baseball team.

(その少年たち**みんな**がその野球チームにいました。)

◆every と each

「**every**」と「**each**」は**両方とも単数形扱い**になります。「**every**」は「**すべての～**」、「**each**」は「**それぞれの～**」という意味になります。

例

- ・ **Every** student went back home. (**すべての**生徒は帰宅した)
- ・ **Each** student went back home. (**それぞれの**生徒は帰宅した)

◆other

other は、他の人や物を表すのに使います。

定冠詞の **the** がつかない複数の **others** は「他人又は他の物」という意味の代名詞です。

定冠詞 **the**+単数の **other** は**2人又は2つのうちの他方**や3人(つ)以上の中の**最後の残り(単数)**など、特定されたものを指します。

定冠詞 **the**+複数の **others** は数ある中の一部を除いたあとの残り(複数)を指します。やはり特定されるので冠詞 **the** が付きます。

例

Some say yes, **others** say no. (はいと言う人もいれば、いいえと言う人もいる。)

I have **two** dogs. One is brown, and **the other** is white.

(私は犬を2匹飼っています。1匹は茶色で、**もう1匹**は白です。)

I have **three** dogs. One is brown, and **the others** are white.

(私は犬を3匹飼っています。1匹は茶色で、**それ以外**は白です。)

◆another

another は、「**an + other**」のことで、「**1つの other**」つまり特定しない「**もう1つ**」という意味を表します。

3人(つ)以上の人や物がある時、**前に一度使った名詞の代わりに使ったり、追加する人や物**を表したりするのに使います。

※each other (お互い)

例

I have **two** dogs. One is white, and **the other** is brown.

(私は犬を2匹飼っています。1匹は白で、**もう片方**は茶色です。)

All of these are great. I love **this one**. **The others** are good, too.

(これらは**みんな**すごくいいです。**これが特にいいわ**。他の**(残りも全部)**もいいわ。)

I have **three** dogs. **One** is white, **another** is black, and **the other** is brown.

(私は犬を3匹飼っています。**1匹**は白で、**もう1匹**は黒。そして**(最後の)もう1匹**が茶色です。)

This is a beautiful flower. I want **another**.

(これはきれいな花ね。**もう1本**ほしいわ。)

Meg and Koji always help **each other**.

(メグと浩二はいつも**お互い**に助け合います。)